

# 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

2024年6月



<b>1. 「お客さま本位の業務運営」に関する取組方針</b>	
取組方針	2
<b>2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況</b>	
(1) お客さまの最善の利益の実現	3
(2) お客さまのお役に立つ商品・サービスの選定	5
(3) 手数料率等の透明性向上	6
(4) 重要な情報のわかりやすい提供	7
(5) お客さまにふさわしい商品・サービスの提供	9
(6) 人材育成・評価	12
<b>3. 投資信託（共通KPI）</b>	
(1) 投資信託の運用損益別顧客比率	13
(2) 投資信託の預かり残高上位20銘柄	14
(3) 投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン/コスト・リターン	15
<b>4. 仕組債のリスク・リターン</b>	
仕組債のリスク・リターン	16
<b>【参考】 「顧客本位の業務運営に関する原則」と「取組状況」との対応関係</b>	21

# 1. 「お客さま本位の業務運営」に関する取組方針

## 1. はじめに

群馬銀行およびぐんぎん証券（以下、群馬銀行グループ）は、「企業理念」において、「地域社会の発展を常に考え行動すること」、「お客さまとの創造的な関係を深めること」を掲げています。また、パーパス「私たちは『つなぐ』力で地域の未来をつむぎます」に基づき社会やお客さまの課題解決（社会的価値）に積極的に取組み、その結果として適正な利益を上げて（経済的価値）いくことで、ともに持続的に成長していくことを目指します。こうした企業理念やパーパスを踏まえ、以下の方針に基づき、金融サービスの向上に取り組んでいきます。

## 2. お客さまの最善の利益の実現

- (1) 群馬銀行グループは、企業理念やパーパスに基づき、お客さまにとって何が最適な商品・サービスなのかを考え、お客さまの最善の利益実現を図ります。
- (2) お客さまの最善の利益の実現を図るため、群馬銀行は、お客さまのライフステージに応じて発生する様々なニーズに対する包括的なサポートを行う役割を担い、ぐんぎん証券は主に資産運用ニーズに対するサポートを行う役割を担います。

## 3. お客さまのお役に立つ商品・サービスの選定

新たに取扱う商品・サービスの選定や、お客さまへのご提案にあたっては、受け取る手数料等の多寡や商品・サービス提供会社との関係に捉われず、「お客さまに最もふさわしい商品・サービスは何か」を判断基準とします。

## 4. 手数料等の透明性向上

お客さまが商品・サービスを選ぶ際の判断材料となるよう商品・サービスごとの手数料等の透明性向上を図るとともに、お客さまにご理解いただけるよう丁寧な説明を行います。

## 5. 重要な情報のわかりやすい提供

- (1) 商品・サービスに関する情報を提供する際には、ITツールなどを活用し、商品・サービスの基本的なリターン、損失その他のリスク、取引条件等を含めわかりやすく説明します。
- (2) お客さまが、ご自身の判断でニーズに合った商品・サービスを選択していただけるよう、明確、平易であり、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供を行います。

## 6. お客さまにふさわしい商品・サービスの提供

- (1) お客さまの知識、経験、財産の状況、お取引の目的やニーズに合わせて、グループ体となって最適な商品・サービスを提案します。
- (2) 地域の皆さまの金融リテラシー向上のため、金融・経済に関する情報提供を積極的に行います。
- (3) マーケット環境やお客さまの運用状況等をはじめ、お客さまの投資判断に必要な情報を提供するなど、適時適切なフォローアップを行います。

## 7. 人材育成・評価

お客さまの多様なニーズに対し、最適なコンサルティングを提供するため、研修の充実や資格取得支援を通して、専門知識と高度な提案力を兼ね備えた人材の育成に努めるとともに、従業員の適切な評価を大切にします。

## 2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

当社は、群馬銀行グループが定める「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づき「アクションプラン」を策定しており、本資料はその「アクションプラン」の取組状況を公表するものです。

### (1) お客さまの最善の利益の実現 ①

#### ■ アクションプラン

- ▶ 当社が考えるお客さまの最善の利益とは「多様化・高度化したお客さまの資産運用ニーズに対し、高い専門性と職業倫理を持って、お客さま一人ひとりのニーズに合った商品・サービスの提供を行い、お客さまに信頼いただくこと」です。
- ▶ お客さまの最善の利益の実現のため、当社はトータルリターン<sup>①</sup>の提供や、対話およびヒアリングを通じたアドバイスによりお客さまと価値観を共有して、持続的な信頼関係を構築します。

#### ● 具体的な取組み

- ・ 当社ではお客さまへの「トータルリターン」の提供と「価値観」の共有を行うため、対面を中心としたアドバイザリー型営業を実践しています。
- ・ お客さまの多様化・高度化した資産運用ニーズに対し、アドバイザリー型営業によるポートフォリオ提案を通じて、預かり資産残高の積上げに取組んでいます。

お客さまへの「トータルリターン」の提供と「価値観」の共有

トータルリターンの提供と、対話およびヒアリングを通じたプロファイリングにより 価値観を共有し、お客さまの最善の利益の実現を図る

プロファイリングシート※

真のニーズを共有

ハウスビュー(GMAP)※

当社の公式な投資見解

ポートフォリオ分析システム※  
(2024年6月稼働)

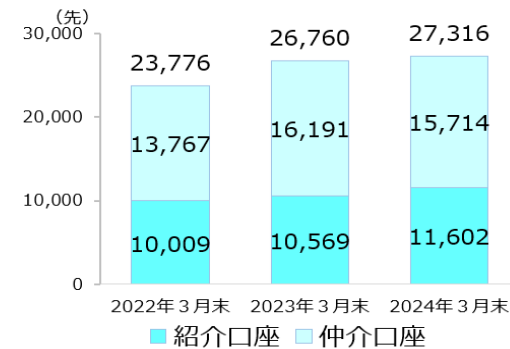
銀証全体での最適ポートフォリオ構築

**アドバイザリー型営業の展開**

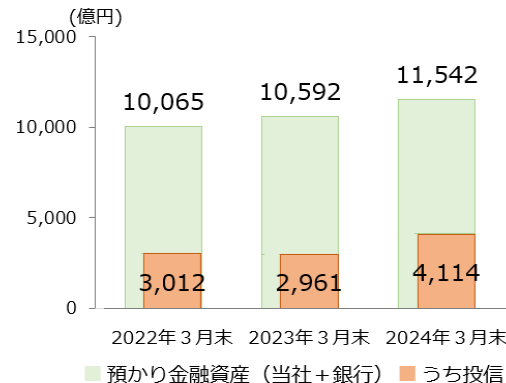
※P4をご参照

お客さまの預かり資産残高の積上げ

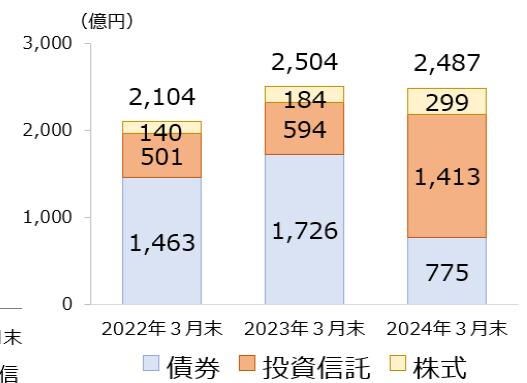
[口座開設数]



[当社+銀行 預かり金融資産残高]



[当社 預かり金融資産残高]



## 2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

### (1) お客さまの最善の利益の実現 ②

- アドバイザリー型営業ではさまざまなツールを活用して、お客さまの最善の利益の実現に取り組んでいます。

#### プロファイリングシート

お客さまのライフプラン、具体的な投資の目的、投資に対する価値観等を把握したうえで、ご資産の状況に関する課題や当社に対する期待などのお客さまの真のニーズを共有するツールです。

#### ハウスビュー(GMAP)

国内外の経済情勢や金融政策について専門家の分析や分析結果を踏まえた資産配分例、投資戦略についての社内の見解を定めたものです。市場に対する見方などをお客さまと共有する際に活用します。

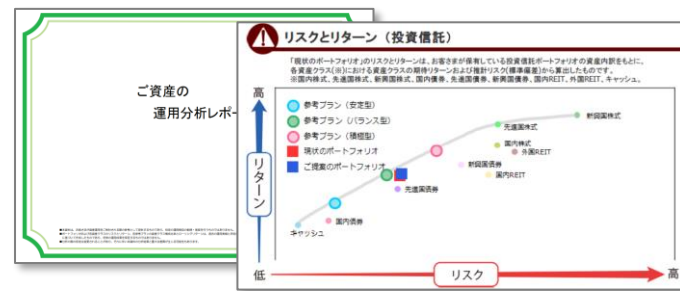
#### ポートフォリオ分析システム(ご資産の運用分析レポート)

お客さまが当社および群馬銀行で保有する預かり金融資産を一覧で表示することができるツールです。  
現在のご資産の運用状況や、お客さまのご意向に沿ってご購入やご売却のシミュレーションを行い、ポートフォリオやリスクリターンの変化を確認することができます(2024年6月稼働)。

ハウスビュー(GMAP)のレポート



ポートフォリオ分析システム



### ■ アクションプラン

- お客さま本位の業務運営に関する取組方針について、企業文化として定着を図るため、当社の経営陣により各種会議等を通じて全役職員に対して周知を行います。

### ● 具体的な取組み

#### 【お客さま本位の業務運営の定着】

- お客さま本位の業務運営について、通達や勉強会の実施および、本部の臨店指導時に営業員にヒアリングするなど、社内での徹底を図っています。

#### 【営業店の評価】

- 営業店の業績表彰は、「基盤項目」「残高項目」「収益項目」「プロセス評価項目」で構成しています。
- 業績表彰において収益獲得のインセンティブを抑止するために「基盤項目」「残高項目」等の割合を高くし、「収益項目」の割合を低くしております。

## 2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

### (2) お客さまのお役に立つ商品・サービスの選定

#### ■ アクションプラン

- 新たに取扱う商品・サービスの選定において、リスク、リターン、コストなどを特定・分析し、お客さまの最善の利益の実現に資するものなのかを検討するなど、お客さま本位の観点に立った、透明性の高い選定プロセスを取り入れます。
- お客さまのニーズに合った最適な商品・サービスを提案するための体制を、全社一体となって整備します。

#### ● 具体的な取組み

##### 【新商品等取扱規程】

- ・ 「新商品等取扱規程」を制定し、新たな有価証券等を取扱う際に適法性の他、合理的根拠適合性について、取扱商品の期待リターンとコストおよびリスクのバランスや、お客さまにふさわしい商品かについて、事前に検証を行っています。

##### 【商品選定会議】

- ・ 新たな商品・サービスを取扱う際に、営業部門と管理部門等で構成する「商品選定会議」において、商品性や上記の合理的根拠適合性について事前に検証を行っています。

##### 【リスク、リターン、コストの検証】

- ・ 投資信託について、共通KPIによりコスト・リターンおよびリスク・リターンの検証を定期的実施し取締役会へ報告しています。また、仕組債についてリスク・リターンの検証を定期的実施し、取締役会へ報告しております。

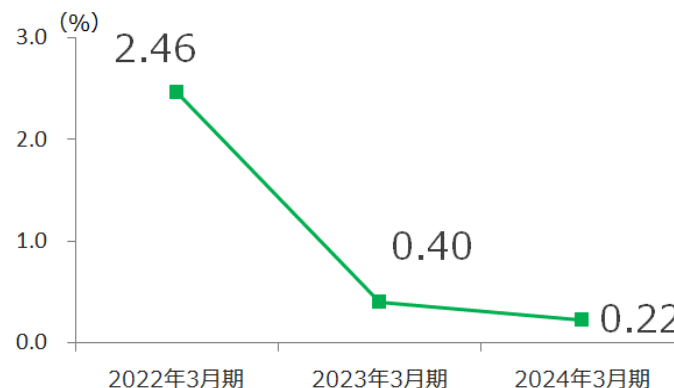
※「利益相反管理方針」においてお客さまの利益を不当に害することのないよう業務を遂行することを定め、ホームページに公表しています。

<https://www.gunginsec.co.jp/common/pdf/conflicts-of-interest2.pdf>

##### 【系列運用会社の投信商品販売比率】

- ・ 投資信託商品の選定やお客さまへの情報提供にあたり、系列運用会社（スカイオーシャン・アセットマネジメント（株））にかかわらず、お客さまのニーズにお応えできる商品をご提供できるよう、適切に管理しています。

[投資信託販売額における系列運用会社商品比率]





## 2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

### (4) 重要な情報のわかりやすい提供 ①

#### ■ アクションプラン

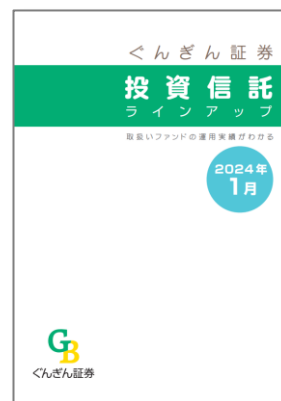
- 商品・サービスの重要な情報については、文字の大きさや色等で目立つように表示するなど、お客さまにわかりやすい資料を作成・提供します。

#### ● 具体的な取組み

##### 【各種パンフレット等の整備】

- ・ 当社が取扱っている投資信託の中から主なファンドの商品概要や運用状況等を一覧化した「投資信託ラインアップ」をご用意しております。  
また、お客さまのニーズにお応えするため、商品の概要や一般的な仕組みをご案内する際のパンフレットとして、「外国債券のご案内」「外国株式のご案内」をご用意しております。

[投資信託ラインアップ]



[外国債券のご案内]



[外国株式のご案内]



##### 【ファンド比較・投資信託積立シミュレーション】

- ・ 当社ホームページのファンド一覧で、お客さまが選んだ最大5ファンドのチャートおよびリスク・リターン、手数料等の比較(ファンド比較)や、積立投資のシミュレーション(投資信託シミュレーション)をすることができます。

##### 【レスポンスデザイン】

- ・ 当社ホームページについてスマートフォンでの閲覧時の視認性向上のため、画面に適したサイズになるよう対応しています。

[ファンド比較]



[投資信託積立シミュレーション]



## 2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

### (4) 重要な情報のわかりやすい提供 ②

#### ■ アクションプラン

- お客さまが投資判断を行う際の必要な情報を提供する場合は、重要情報シートを含む各種資料などを利用し、様々な商品・サービスを比較できるように、メリット・デメリットをわかりやすく丁寧に説明します。
- 商品・サービスを提案する際には、パッケージ化の有無、個別購入の可否について、重要情報シートを活用し説明します。

#### ● 具体的な取組み

##### 【重要情報シートの活用】

- ・ お客さまの資産運用の説明にあたって、重要な情報をわかりやすく提供するため、「重要情報シート(金融事業者編)」、「重要情報シート(個別商品編)」を導入しています。
- ・ 「重要情報シート(個別商品編)」では、商品のパッケージ化の有無や個別での購入の可否について記載しています。

[重要情報シート(金融事業者編)]



#### ■ 主な記載内容

1. 当社の基本情報
2. 取扱商品
3. 商品ラインアップの考え方
4. 苦情・相談窓口

[重要情報シート(個別商品編)]



#### ■ 主な記載内容

1. 商品等の内容
  - ・ 金融商品の目的・機能
  - ・ 商品組成に携わる事業者が想定する顧客層
  - ・ パッケージ化の有無
2. リスクと運用実績
  - ・ 損失が生じるリスクの内容
  - ・ 過去1年間・5年間の収益率 (投資信託)
3. 費用
  - ・ 購入時に支払う費用 (販売手数料など)
  - ・ 継続的に支払う費用 (信託報酬など)
  - ・ 運用成果に応じた費用 (成功報酬など)
4. 換金・解約の条件
5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性
6. 租税の概要
7. その他参考情報

## 2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

### (5) お客さまにふさわしい商品・サービスの提供 ①

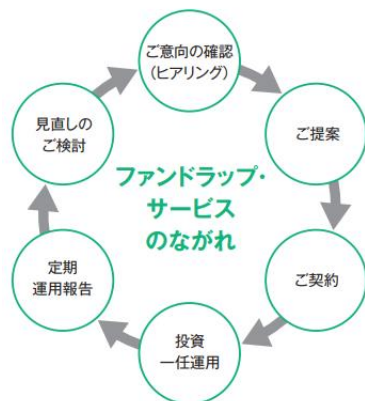
#### ■ アクションプラン

- 当社は群馬銀行とお取引があるお客さまに対して、主に資産運用分野におけるサポートを行う役割を担っており、群馬銀行と連携してお客さまのニーズに合った商品・サービスを提案します。
- お客さまにふさわしい商品・サービスの提供のためには、対話やヒアリングによるプロファイリングが必要かつ重要であると考え、投資経験、保有資産などの把握、および投資目的やライフプランなどのお考えを丁寧にお伺いします。

#### ● 具体的な取組み

##### 【当社と群馬銀行の役割に基づく商品・サービスのご提案】

- ・ 当社は群馬銀行グループの一員として、一定のご資産の運用ニーズがあり、リスク許容度が比較的高いお客さまに対して、主に対面でのアドバイザー型営業によりお客さまにふさわしいと考えられる商品・サービスの提案を実践しています。
- ・ お客さまにふさわしい商品・サービスの提案のため、プロファイリングシートなどのツールを活用し、ご資産の状況、さらに提案に先立って確認した運用のニーズや、運用資金の原資、運用の目的等に基づいて、お客さまの真のニーズに応えるための最適なポートフォリオの提案に努めています。
- ・ 2024年2月より「ぐんぎんファンドラップ」の取扱いを開始しました。



[当社と群馬銀行の役割セグメントのイメージ]



**GB 群馬銀行**  
トータルアドバイザー  
(お客さまの包括的なサポート)

## 2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

### (5) お客さまにふさわしい商品・サービスの提供 ②

【投資信託取扱商品の定期的な見直し】

- お客さまのニーズとマーケット環境、新商品とのバランス等を考慮し、取扱商品の見直し(入替え)を行いました。
- 2024年3月末の取扱本数は前年同期比▲37本の175本となりました。

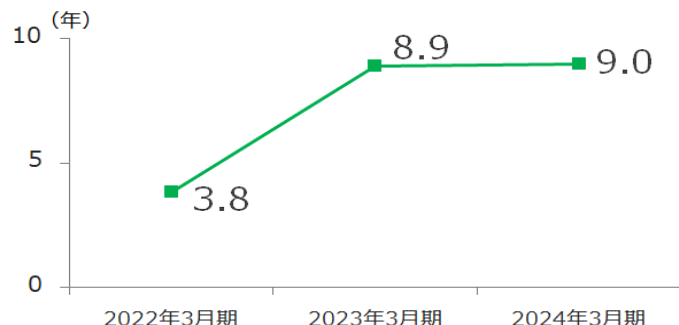
[参考:投資信託の 카테고리別本数]

カテゴリ			2022年3月末			2023年3月末			2024年3月末		
			商品数	商品数	前年比	商品数	前年比	商品数	前年比		
追加型	債券	国内債券	1	1	—	1	—				
		海外債券	39	39	—	25	-14				
	株式	国内株式	14	14	—	11	-3				
		海外株式	75	75	—	73	-2				
	リート	国内リート	3	3	—	4	1				
		海外リート	17	17	—	10	-7				
	バランス	バランス	25	27	2	18	-9				
		バランス(ラップ型)	10	10	—	6	-4				
	レバレッジ	レバレッジ	5	5	—	5	—				
	その他	その他	1	1	—	0	-1				
	オンライン	オンラインサービス専用	16	16	—	16	—				
	NISA専用	つみたてNISA専用	4	4	—	6	2				
				210	212	+2	175	-37			

※追加型投信のみ

【投資信託平均保有年数】

- 2024年3月期は、利益確定等の要因で投資信託の売却が増加したものの、前年に比べて残高が増加し、保有年数は若干の増加となりました。



※平均保有年数: 平均残高((前年度末残高+年度末残高)÷2)÷年間解約額

参考[投資信託の販売上位5商品]

期	順位	商品名
2022年3月期	1	ダブル・ブレイン
	2	MSGグローバル・プレミアム株式オープン 為替ヘッジなし
	3	フィデリティ・世界割安成長株投信 為替ヘッジなし
	4	米国成長株式ファンド
	5	ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド
2023年3月期	1	MSGグローバル・プレミアム株式オープン 為替ヘッジなし
	2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド
	3	フィデリティ・世界割安成長株投信 為替ヘッジなし
	4	アライアンス・バースタイン 米国成長株投信 Bコース 為替ヘッジなし
	5	三菱UFJ 米国配当成長株ファンド 為替ヘッジなし
2024年3月期	1	MSGグローバル・プレミアム株式オープン 為替ヘッジなし
	2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド
	3	フィデリティ・世界割安成長株投信 為替ヘッジなし
	4	あおぞら・新グローバル分散F(限定追加型)2023-07
	5	MSGグローバル・プレミアム株式オープン 為替ヘッジなし 予想分配提示

## 2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

### (5) お客さまにふさわしい商品・サービスの提供 ③

#### ■ アクションプラン

- お客さまにふさわしい商品・サービスの提案が適切に行われているかモニタリングを行い、継続して改善することでお客さまの満足度の維持・向上を図ります。
- マーケット環境を的確に把握し、お客さまへ情報提供するなどフォローアップを充実させるとともに、マーケットが大きく変化した場合には、タイムリーな情報提供を行います。

#### ● 具体的な取組み

##### 【フォローアップ】

- お客さまのフォローアップに対する「アフターフォロー基準」を制定し、お客さまの保有資産の状況に関する情報提供（定例フォロー）や、市場の急変時など投信基準価額や株価が一定基準以上下落した場合のフォロー（臨時フォロー）など行っております。

##### 定例フォロー

定期的に預かり資産の状況やそれに係わる市況の説明を実施

##### 臨時フォロー

急激な市況の変動による価格の下落や突発的な事象等が起きた場合に実施

- 共通KPI(投信評価損益プラス比率)について、個別に要因の説明などのフォローを行っております。  
(共通KPIの状況についてはP13をご参照ください)
- フォローアップの実施状況について、管理部門でチェック・検証を行っています。

##### 【タブレット等を利用した情報提供】

- 営業員が携帯するタブレット端末を活用して、株価等のマーケットの情報や投資信託の比較、お客さまの預かり金融資産の状況などの情報をスムーズにご提供できるよう、対面営業活動での情報提供の拡充に取り組んでいます。

##### 【セミナー】

- 2023年9月に高崎市および太田市にて、「個人投資家向け会社説明会および投資セミナー(群馬銀行主催、当社協賛)を実施しました。



[個人投資家向け会社説明会および投資セミナー(高崎)]

## 2. 「お客さま本位の業務運営」の取組状況

### (6) 人材育成・評価

#### ■ アクションプラン

- お客さまへの最適なコンサルティングに関する研修を実施するとともに、専門資格保有者の増強・資格取得支援を行います。
- 従業員の評価については、お客さまへのわかりやすい情報提供や、お客さまにふさわしい商品・サービスの提案や行動を適切に評価する仕組みを導入します。

#### ● 具体的な取組み

##### 【研修の実施・資格取得の促進】

- お客さまへの最適なコンサルティングを提供するため、営業店での従業員のOJTや、従業員に対するWebを通じた勉強会を実施しております。
- お客さまへの資産運用ニーズにお応えするため、従業員に対し専門資格(FP技能士等)の取得を支援しています。

[FP技能士資格保有者数(当社・銀行の合算)]

(単位:人)

		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
FP技能士	1級(※1)	136	141	142
	2級(※1)	2,223	2,283	2,337

※1 CFP含む

※2 AFP含む

##### 【銀行支店での勉強会】

- 群馬銀行員のコンサルティング能力向上を目的として、当社営業員が講師を行う勉強会を実施しております。

##### 【営業員の評価】

- 営業員の営業活動に対して、お客さま本位の業務運営に沿った項目に対して表彰を実施しております。

##### [主な表彰の項目]

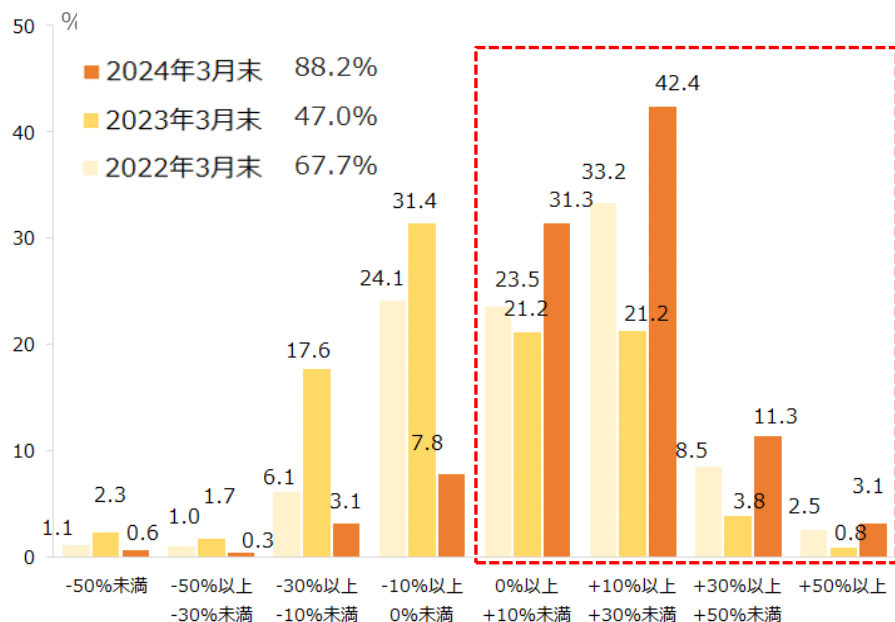
- ☞ お客さまのニーズやポートフォリオの状況等を踏まえた営業活動の継続
- ☞ お客さまの預かり資産残高の増加に貢献
- ☞ プロファイリングシートの作成やアフターフォローの実施状況、投資信託の損益状況(KPI)等

### 3. 投資信託 共通KPI

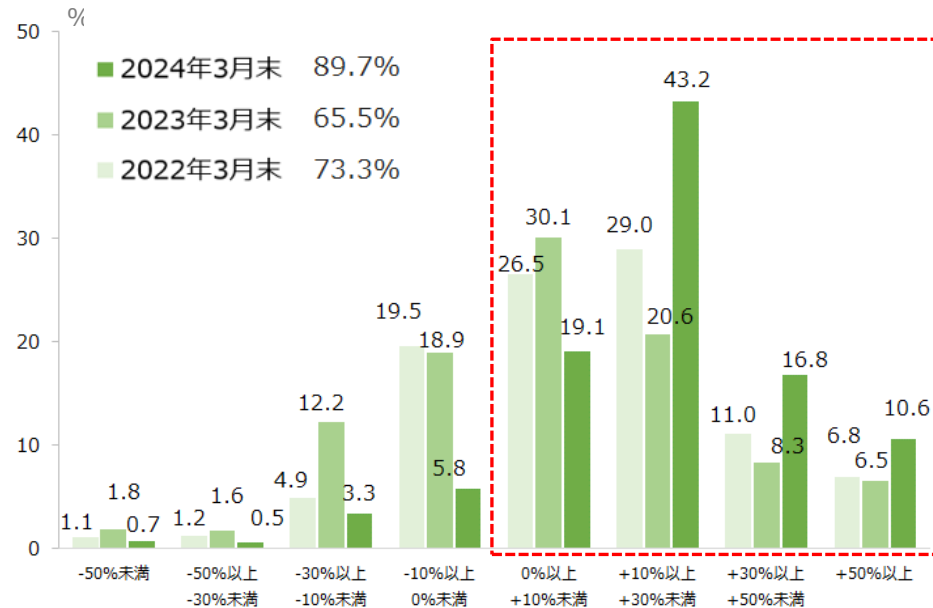
#### (1) 投資信託の運用損益別顧客比率

- 投資信託を保有されているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係るご購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さま比率をお示ししております。お客さまが保有されている投資信託について、ご購入時以降どれくらいのリターンが生じているかをご覧ください。
- 米国の利下げ見通しや日本の緩和的な金融環境の継続期待などの影響を受け、幅広い銘柄の基準価額が上昇し、2024年3月末基準で運用損益がプラスになっているお客さまの比率は88.2%（前年比+41.2㊦）となりました。
- 当社のビジネスモデルは、グループ会社である群馬銀行との銀証連携をベースとしたものであり、当社とお取引いただいているお客さまは、全て群馬銀行とお取引のあるお客さまとなります。こうした観点から、群馬銀行グループ全体の「運用損益別顧客比率」についても合わせて公表しております。

① 当社(共通KPI)



②ご参考:群馬銀行グループ(当社+群馬銀行)



※対象となるお客さま：基準日時点で投資信託を保有されている個人のお客さま  
 ※対象商品：基準日時点で対象となるお客さまが保有されている投資信託  
 ※対象となるお取引：①：当社の投資信託口座によるお取引および群馬銀行の金融商品仲介口座によるお取引（仲介取引）  
 ②：上記①+群馬銀行の投資信託口座によるお取引

### 3. 投資信託 共通 K P I

#### (2) 投資信託の預かり残高上位 20 銘柄

【2022年3月末】

【2023年3月末】

【2024年3月末】

ファンド名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)	ファンド名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)	ファンド名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	2.64	13.29	13.78	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	2.64	13.59	12.85	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	2.64	13.12	15.28
投資のソムリエ	1.98	2.99	1.32	フィデリティ・U S ハイ・イールド・ファンド	2.29	10.72	7.59	フィデリティ・U S ハイ・イールド・ファンド (毎月決算型) B (為替ヘッジなし)	2.29	10.54	10.46
フィデリティ・U S ハイ・イールド・ファンド	2.29	10.02	6.22	投資のソムリエ	1.98	3.72	-0.44	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 B コース (為替ヘッジなし)	2.39	17.29	23.28
G S グローバル・ビッグデータ投資戦略 B コース (為替ヘッジなし)	2.01	18.32	12.16	G S グローバル・ビッグデータ投資戦略 B コース (為替ヘッジなし)	2.01	19.19	9.57	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド B コース	2.51	8.02	8.19
netWIN GSテクノロジー株式ファンド B コース (為替ヘッジなし)	2.75	18.24	22.31	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B コース (為替ヘッジなし)	2.75	20.53	14.60	フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド (毎月決算型)	2.04	10.80	6.08
グローバル A I ファンド	2.59	24.29	25.61	グローバル A I ファンド	2.59	27.13	15.08	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 D コース 毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示	2.39	17.18	23.15
米国成長株式ファンド	2.53	18.56	21.39	サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし)	2.53	24.72	14.87	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド D コース	2.51	8.01	8.18
高成長インド・中型株式ファンド	2.71	25.07	10.24	ワールド・ビューティ・オープン (為替ヘッジなし)	2.46	14.48	9.09	ダブル・ブレイン	2.67	7.69	3.80
ひふみプラス	1.52	16.07	7.83	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 B コース (為替ヘッジなし)	2.39	17.66	16.79	投資のソムリエ	1.98	3.95	-0.58
フィデリティ・U S リート・ファンド B (為替ヘッジなし)	2.09	17.45	11.53	米国成長株式ファンド	2.53	20.55	14.44	G S グローバル・ビッグデータ投資戦略 B コース (為替ヘッジなし)	2.01	17.92	17.03
三井住友・げんきシニアライフ・オープン	2.31	17.04	3.31	三菱 U F J 米国配当成長株ファンド <為替ヘッジなし>	1.93	17.14	13.12	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	2.40	9.94	7.87
ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.44	4.31	2.64	ひふみプラス	1.52	15.97	2.23	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B コース (為替ヘッジなし)	2.75	21.15	23.19
東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	2.02	17.94	18.26	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 D コース 毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39	17.56	16.69	メディカル・サイエンス・ファンド	2.64	15.80	14.47
ブラジル・ボンド・オープン (毎月決算型)	1.47	20.09	-1.93	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド B コース	2.51	7.19	5.33	三菱 U F J 米国配当成長株ファンド <為替ヘッジなし>	1.93	16.85	16.12
野村インド債券ファンド (毎月分配型)	2.40	9.58	4.57	高成長インド・中型株式ファンド	2.71	25.28	8.62	米国成長株式ファンド	2.53	19.98	22.21
グローバル・フィンテック株式ファンド	2.59	27.84	16.60	フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド (毎月決算型)	2.04	10.72	2.88	サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし)	2.53	24.26	20.42
財産 3 分法ファンド (不動産・債券・株式) 毎月分配型	1.49	8.69	4.26	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	2.51	21.54	8.24	高成長インド・中型株式ファンド	2.71	23.99	17.92
ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	2.36	15.22	9.25	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	2.40	9.93	4.92	グローバル A I ファンド	2.59	27.67	22.74
ニッセイ J - R E I T ファンド (毎月決算型)	1.54	14.25	5.07	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	2.02	17.08	7.63	日経平均高配当利回り株ファンド	1.13	17.64	19.30
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド A コース	2.51	5.08	0.41	メディカル・サイエンス・ファンド	2.64	16.94	11.19	ひふみプラス	1.52	14.13	11.06
残高加重平均値	2.30	13.65	10.84	残高加重平均値	2.37	14.60	9.76	残高加重平均値	2.40	13.29	13.53

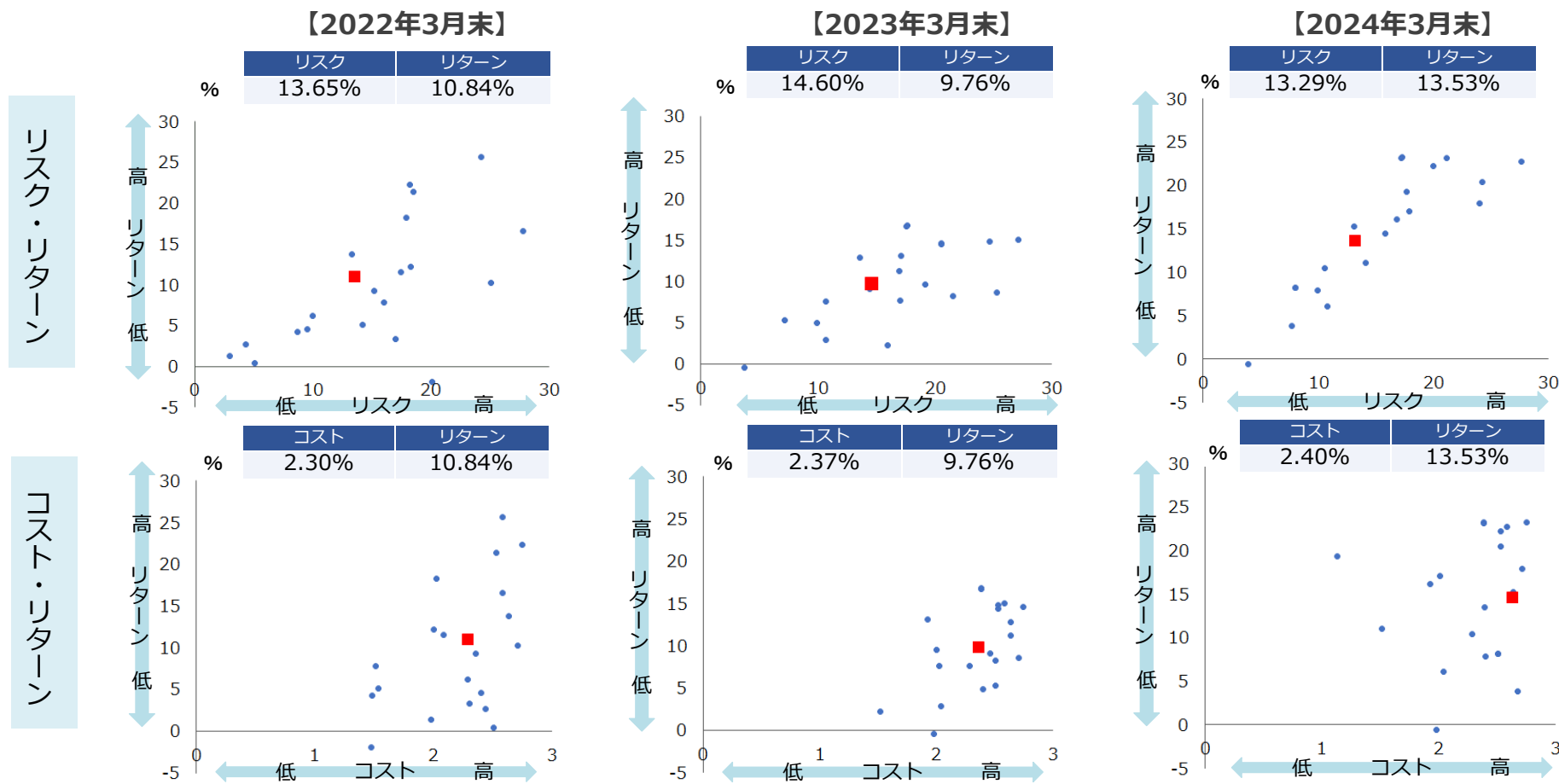
※設定後5年以上の投資信託が対象

### 3. 投資信託 共通KPI

#### (3) 投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン/コスト・リターン

- ・ 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預かり残高加重平均のリスクとリターン、コストとリターンの関係をお示ししております。この指標により、リスクに見合ったリターン実績を持つ商品や、コストに見合ったリターン実績を持つ商品を多くお客さまに提供しているかを確認することができます。
- ・ 2024年3月末時点の残高加重平均リスクは▲1.31㊦、コストは前年度比+0.03㊦、リターンは+3.77㊦となりました。

※グラフの数値は残高加重平均値で、「■」の印で表示しています。



・ コスト：販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値 ※リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算） ※リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

## 4. 仕組債のリスク・リターン

- 当社が取扱った仕組債のうち「複数指数リンク債」「単数指数リンク債」「デュアルカレンシー債」「EB債」および参考として「米ドル建て債」について、2024年3月末における償還済・未償還銘柄の、リスク・リターン実績を示しております。

[各商品のグラフのご説明]

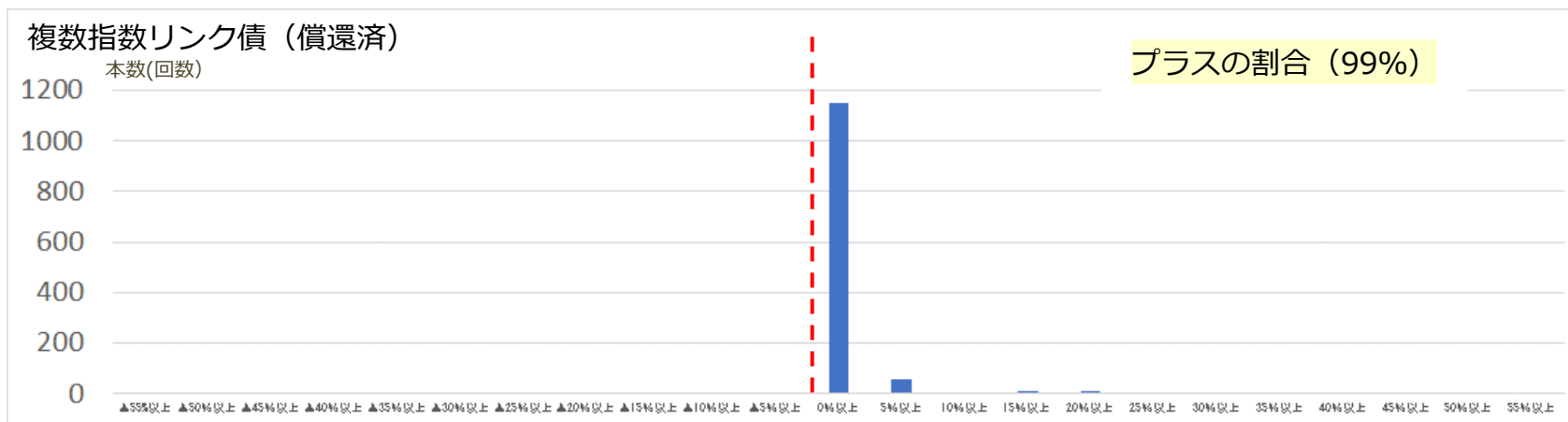
### 仕組債（複数指数リンク債・単数指数リンク債・デュアルカレンシー債・EB債）

- 横軸の「トータルリターン」は、各銘柄の年率換算したトータルリターンを示しています。
  - ※償還済の銘柄のトータルリターン…受取利息の合計額と元本損益を合算
  - 未償還の銘柄のトータルリターン…受取済の利息の合計額と2024年3月末の時価を合算
- 縦軸の「本数（回数）」は、年率換算したトータルリターンによる1年間の投資を何回（本）行うことができたかを示しています。
  - ※償還済の銘柄の計算例…3年満期の仕組債の年換算トータルリターンが5%の場合、5%に3本（回）分を計上
  - 未償還の銘柄の計算例…3年満期の仕組債の2024年3月末における投資期間が2年、年換算トータルリターンが5%の場合、5%に2本（回）分を計上
- リターンは横軸の各銘柄の年率換算したトータルリターンにより、リスクは横軸のトータルリターンのばらつきにより表現しています。
- 償還済みの銘柄のグラフには中途売却を行った場合のリターンは含まれていません。
- 外貨建ての商品は発行時、利払い時、償還時の各時点の為替レートで円貨換算してトータルリターンを計算しています。
- 各仕組債のグラフは当社における過去の販売実績に基づくものであり、仕組債の将来のリスクとリターンについて何らかの示唆を与えるものではありません。またこのグラフは仕組債への投資を推奨する目的で作成したものではありません。

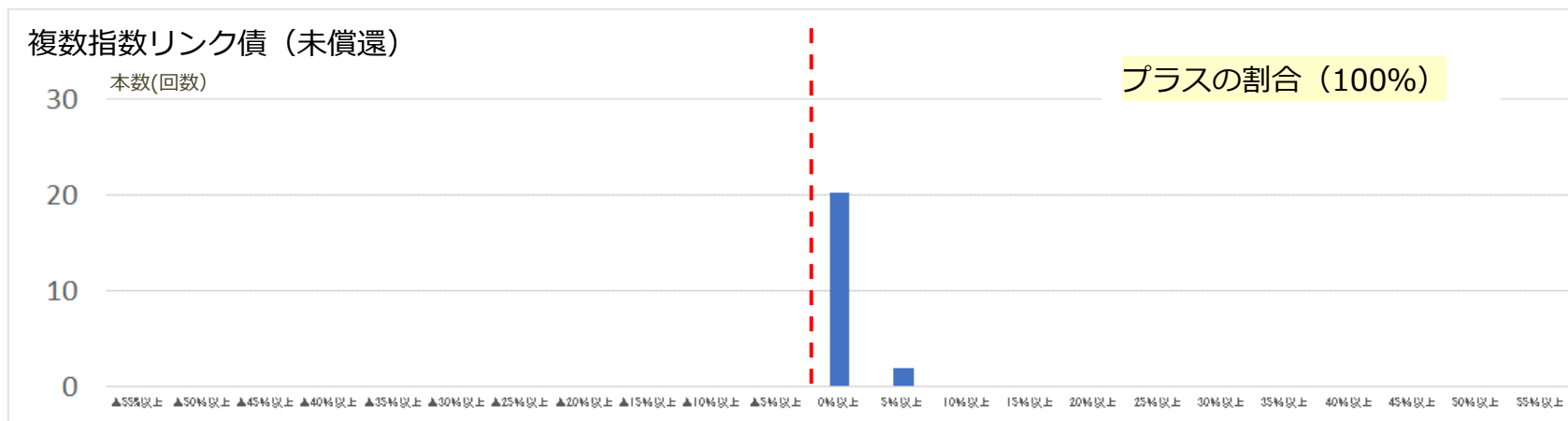
### 米ドル建て債

- 横軸の「トータルリターン」は、各銘柄の年率換算したトータルリターンを示しています。
  - ※償還済の銘柄のトータルリターン…受取利息の合計額と元本損益を合算
  - 未償還の銘柄のトータルリターン…受取済の利息の合計額と2024年3月末の時価を合算
- 縦軸の「本数（回数）」は、年率換算したトータルリターンによる1年間の投資を何回（本）行うことができたかを示しています。
  - ※償還済の銘柄の計算例…3年満期の米ドル建て債の年換算トータルリターンが5%の場合、5%に3本（回）分を計上
  - 未償還の銘柄の計算例…3年満期の米ドル建て債の2024年3月末における投資期間が2年、年換算トータルリターンが5%の場合、5%に2本（回）分を計上
- リターンは横軸の各銘柄の年率換算したトータルリターンにより、リスクは横軸のトータルリターンのばらつきにより表現しています。
- 償還済みの銘柄のグラフには中途売却を行った場合のリターンは含まれていません。
- 米ドル建ての債について発行時、利払い時、償還時の各時点の為替レートで円貨換算してトータルリターンを計算しています。
- 各米ドル建て債のグラフは当社における過去の販売実績に基づくものであり、米ドル建て債の将来のリスクとリターンについて何らかの示唆を与えるものではありません。またこのグラフは米ドル建て債への投資を推奨する目的で作成したものではありません。

## 4. 仕組債のリスク・リターン



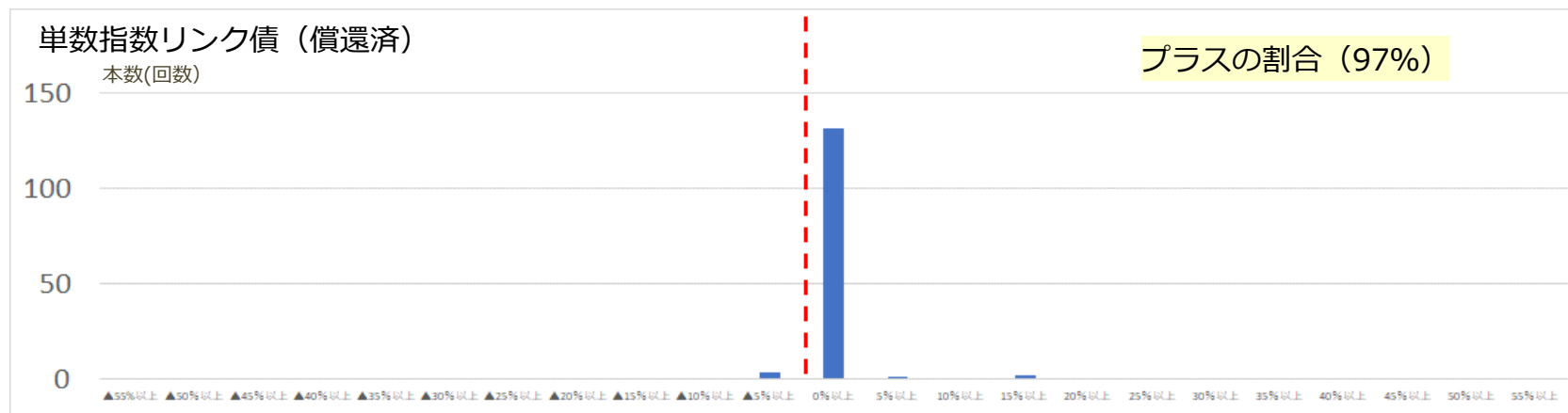
- ・当社で販売した複数指数リンク債で、2019年4月～2024年3月の間に償還（早期償還含む）したものの（1,191銘柄：うち円建て1,128銘柄、外貨建て63銘柄）が対象です。
- ・トータルリターンがマイナスのレンジの銘柄は、円貨換算した影響によりマイナスとなりましたが、外貨建ての計算ではプラスとなっています。



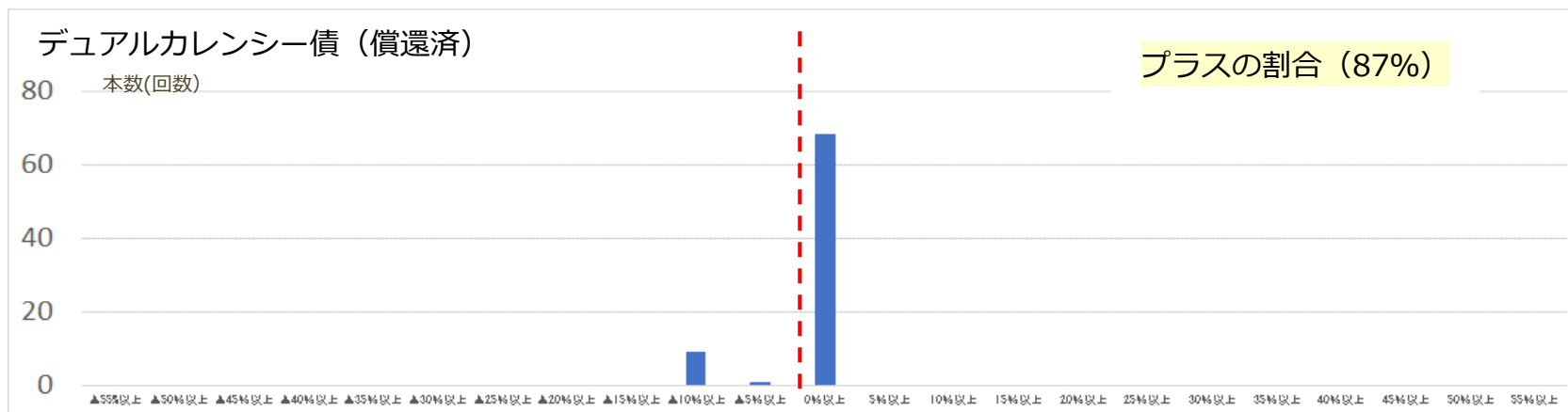
- ・当社で販売した複数指数リンク債で、2024年3月末時点で未償還のもの（16銘柄）が対象です。

※仕組債は、国内において活発な流通市場は確立されておらず、一般の社債と比べて流動性が劣ります。お客さまが売却を希望される際に必ずしも換金できるとは限りませんので、満期まで保有されることを前提にしている商品です。

## 4. 仕組債のリスク・リターン



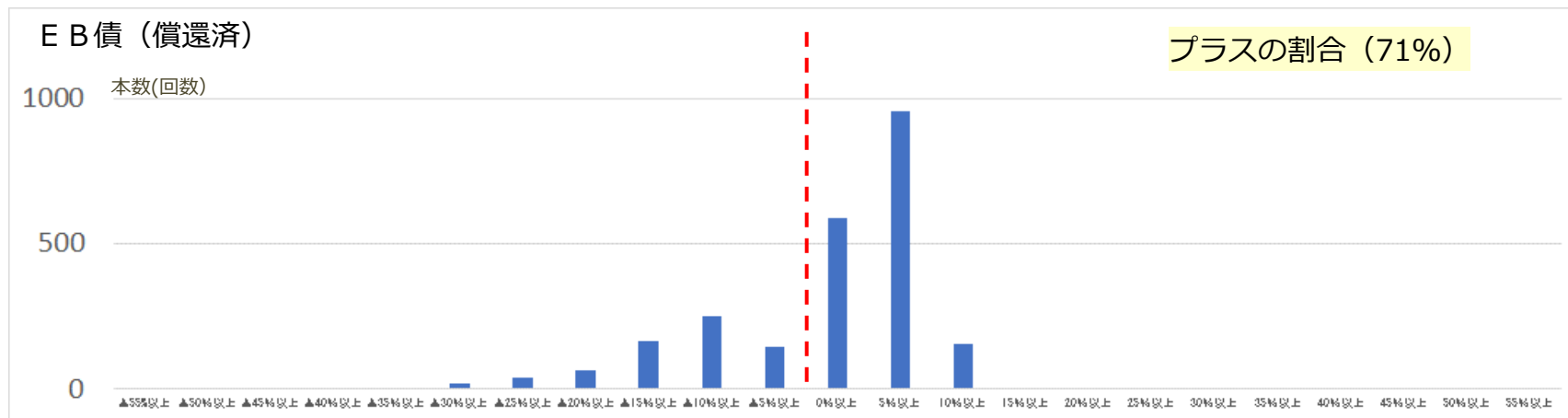
- ・当社で販売した単数指数リンク債で、2019年4月～2024年3月の間に償還（早期償還含む）したものの（113銘柄：うち円建て106銘柄、外貨建て7銘柄）が対象です。
- ・トータルリターンがマイナスのレンジの銘柄は、円貨換算した影響によりマイナスとなりましたが、外貨建ての計算ではプラスとなっています。



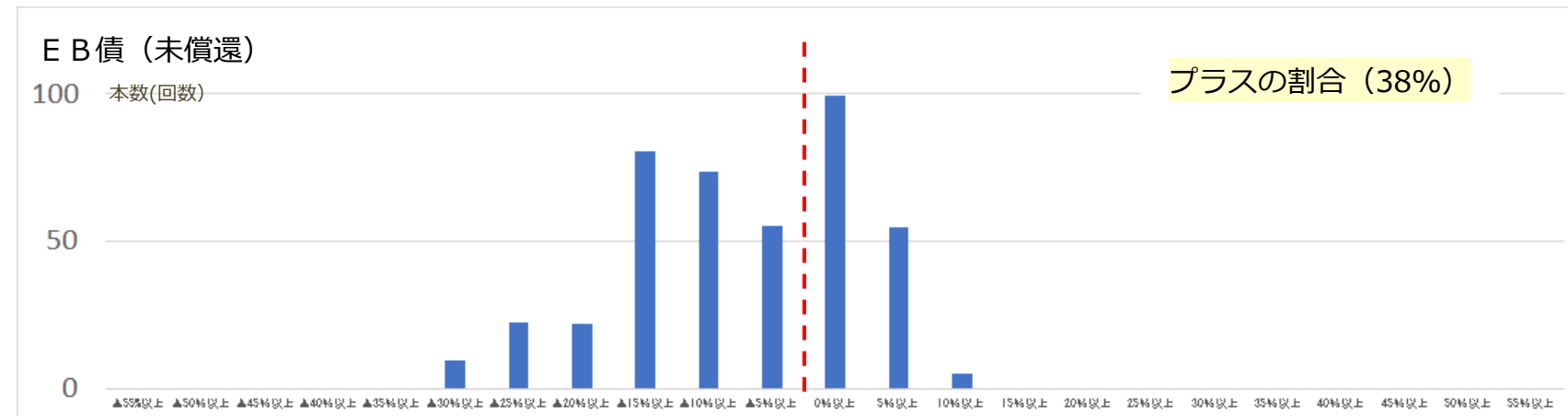
- ・当社で販売したデュアルカレンシー債で、2019年4月～2024年3月の間に償還（任意繰上償還含む）したものの(49銘柄)が対象です。

※仕組債は、国内において活発な流通市場は確立されておらず、一般の社債と比べて流動性が劣ります。お客さまが売却を希望される際に必ずしも換金できるとは限りませんので、満期まで保有されることを前提にしている商品です。

## 4. 仕組債のリスク・リターン



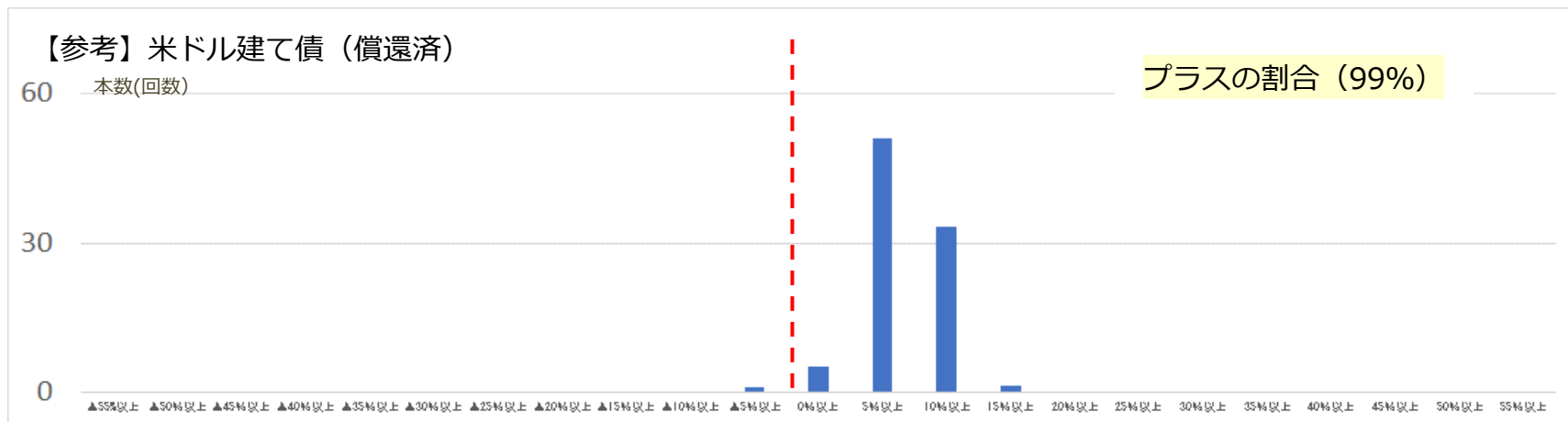
- ・当社で販売したEB債で、2019年4月～2024年3月の間に償還（早期償還含む）したもの（1,530銘柄:うち円建て1,529銘柄、外貨建て1銘柄）が対象です。



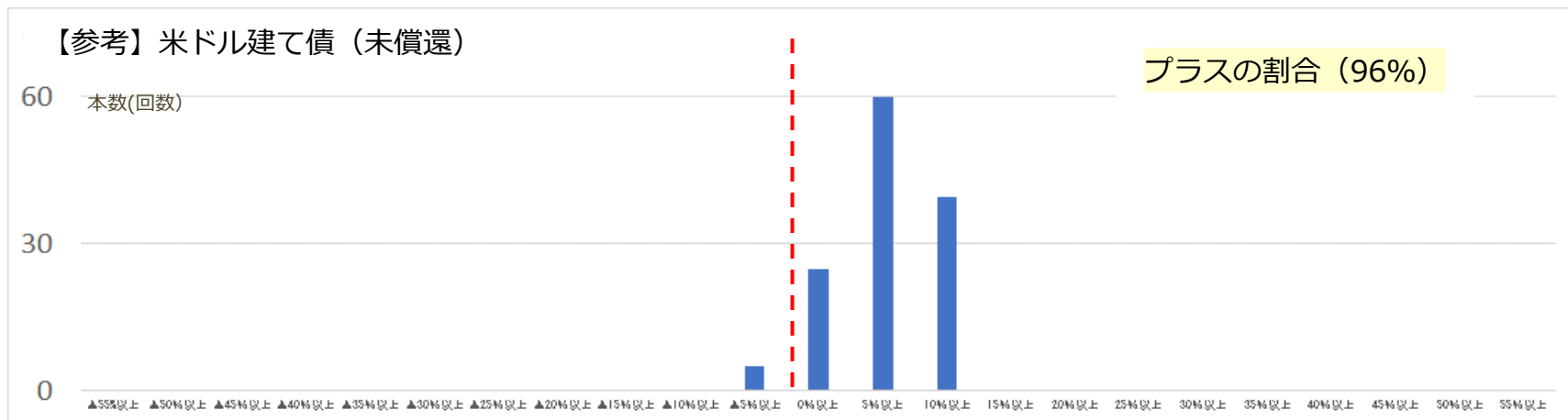
- ・当社で販売したEB債で、2024年3月末時点で未償還のもの（187銘柄）が対象です。

※仕組債は、国内において活発な流通市場は確立されておらず、一般の社債と比べて流動性が劣ります。お客さまが売却を希望される際に必ずしも換金できるとは限りませんので、満期まで保有されることを前提にしている商品です。

## 4. 仕組債のリスク・リターン



- ・当社で販売した米ドル建て債で、2019年4月～2024年3月の間に償還したもの（27銘柄）が対象です。



- ・当社で販売した米ドル建て債で、2024年3月末時点で未償還のもの（55銘柄）が対象です。

**【参考】 「顧客本位の業務運営に関する原則」と「取組状況」との対応関係**

- 群馬銀行グループは企業理念やパーパスに基づき、「お客さまの最善の利益」実現のため、以下の取組を実践しております。
- 当社の取組状況の項目と金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係は以下のとおりとなります。

当社の取組状況（取組方針・アクションプラン）	原則該当番号
1. お客さまの最善の利益の実現	原則 2・7
2. お客さまのお役に立つ商品・サービスの選定	原則 3
3. 手数料率等の透明性向上	原則 4
4. 重要な情報のわかりやすい提供	原則 5・6
5. お客さまにふさわしい商品・サービスの提供	原則 6
6. 人材育成・評価	原則 2・7

**GB** ぐんぎん証券  
私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます